

2025年4月

今年度は1年次の入職者が2名と定員(3名)を割りましたが、その分手厚い指導が受けられると考え、研修期間を乗り越えていただきたいと思います。

4月1日(火)、新規採用職員と共に朝から各部門の講師によるオリエンテーションに参加し、夕方には臨床研修プログラム委員会の責任者である宮城島副院長、プログラム副責任者の放生副院長、外科の指導責任者である小笠原副院長による顔合わせが行われ、研修医の心構えなどについて話されました。

4月17日(木)、感染管理認定看護師2名による採血についてのスキルトレーニングを実施し、針の持ち方と基本操作、採血手順等を学びました。特に針の刺入角度や採血技術向上のための工夫を教わり、4時間以上の指導の結果、明日からでも採血者としての太鼓判をもらいました。

4月22日(火)、篠原院長による総合講座では、まず当院の理念と目標、釧路労災病院の基本方針から Public Speaking の意義について、今後、プレゼンテーションの機会が増えていく中で、自分の考えや成果を効果的に伝える技法について、暗記・アイコンタクト・ゆっくり・はっきり・情熱などのポイントを詳しく説明していただきました。論文だけでは伝わらず、人前で話すことで説得力とインパクトが生まれ、相手に理解していただけると研修医も興味深く聴講していました。

4/2 新規採用職員紹介式



スキルトレーニング風景(大会議室にて)





研修医の希望から場所を臨床研修センター室に移し実施。
副院長も被採血者として参加（真剣そのもの！）

最後は " 安堵の表情 " で撮影



篠原院長による総合講座
Public Speaking の意義と重要性について
(研修医も終始納得の表情)

